

ネクタイコラボ展で表彰

東京ネクタイ協同組合



今回も力作多く

東京ネクタイ協同組合は、このほど、文化学園大学とのコラボ企画「ネクタイコラボレーション展」の表彰式を同大学内の染織研究室前掲示ブース（東京都渋谷区）で開いた。表彰式に先

立ち同組合の和田匡生理事長は「力作そろいで年々レベルが上がっている。甲乙つけがたい作品が多かった」と総評を述べた。

同企画は学生が部門ごとのテーマに沿ってオリジナルネクタイを製作するもの。9回目を迎えた今回も「染色部門」「デコレーション部門」「デザイン画部門」の3部門で約150点の応募があった。とくにオリ

ン画部門の応募が多く、同部門からは森山えりかさん、保坂早綾さん、相原優奈さんの3人が優秀賞、ほ

か2人が佳作に選ばれた。

デコレーション部門では、今回からネクタイ自体のデザインに加え、着用時の自撮り画像も評価材料にするなどより評価項目に特徴を持たせた。同部門と染色部門からは吉江歩実さん（デコレーション部門）、山内椎菜さん（染色部門）が優秀賞、ほか両部門佳作2人ずつ選出された。

受賞作品は同研究室前の掲示ブースに展示されるほか、同組合のホームページや今年10月に開設したフェイスブックにも掲載する予定だ。